



■■■■■■お問い合わせ先■■■■■■

製品カスタマーサポート: 03-6206-0059

電話受付: 月曜日～金曜日 (祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

時間: 10:30 ~ 12:00, 13:30 ~ 16:30

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承ください)

<随時 FAQ. を Web で更新しています。是非ご参照ください>

Web Site : <http://www.gforce-hobby.jp>

輸入販売元: 株式会社ジーフォース 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 マレ神田ビル9階
 当社に無断で複写・転写・転載を禁じます Copyright © 2013 G-Force, Inc. All Rights Reserved.



G6P Professional Balance Charger / Discharger AC/DC FAST CHARGER with POWER SUPPLY



INSTRUCTION MANUAL

安全にご使用頂くためのご注意事項	01
イントロダクション-各部名称	02
製品仕様-同梱品一覧	03
プログラムフローチャート	04-05
LiPo/LiFeバッテリー充電方法	06
バランス充電	07
LiPo充電(バランスなし)	07
LiPoファスト充電	08
ストレージモード(保管モード)	08
ディスチャージ(放電)	09
NiMH/NiCDバッテリー充電方法	09
NiMH/NiCDオートチャージ	10
NiMH/NiCDリピーク充電(追充電)	10
NiMH/NiCDサイクル充電	10
Pbバッテリー充電方法	11
Pbバッテリーを充電する	11
Pbバッテリーを放電する	11
バッテリーメモリー機能	12-13
バッテリーメーター機能	13
モーターテスター機能	14
サーボテスター機能	15
プログラムセット	16-17
各種情報を表示・設定する	17
エラーメッセージ集	18
別売アクセサリ	19
保証・修理規定	21
Memo	21
お問い合わせ先	裏表紙



安全にご使用頂くためのご注意事項

- 本製品はラジコン模型用のニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリー、鉛バッテリー、リチウムバッテリー専用充電器です。さらに安定化電源機能も搭載しています。他の用途には使用しないでください。
- 本製品は防水ではありません。水滴や結露などには十分にお気をつけください。回路がショートする危険があります。
- 充電、放電の電流・温度設定などについては、それぞれの電池製造元・販売元の説明書・指示に従ってください。
- 熱い状態の電池はそのまま充電せずに十分な冷却をしてから充電してください。
- 充放電が完了したら必ずバッテリーを充電器から外してください。そのまま放置することは危険です。絶対にお止めください。
- バッテリーと充電器のプラス・マイナスは正しく接続してください。
- 充電器本体のケースを開けたり、改造しないでください。
- 充放電中は充電器本体や電源ケーブル、バッテリーが熱を持ちますので触れる際は十分ご注意ください。
- 充電器の設置場所は風通しの良い場所で不燃性の台の上に設置してください。
- 充電器の周りに燃えやすい物を置かないでください。
- 充電器本体やバッテリーが異常に過熱した場合は速やかに充放電を中止し、バッテリーを外してください。
- 充放電中は常に監視し、異常を感じたら速やかに充放電を中止してください。
- 当説明書に反し、誤った設定、接続によって起きた結果については当社社は一切責任を持ちません。
- AC電源入力とDC電源入力は同時に接続しないでください。必ずどちらか一方の電源(ACまたはDC)のみ接続してください。同時に接続すると本製品が故障する可能性があります。

免責事項:

- ◇弊社は当製品の使用によるいかなる損害にも保障する責任を負いません。
- ◇製品の性格上、当製品をご使用になって起きたバッテリーや安定化電源等の結果につきましても責任を負いかねます。予めご了承ください。
- ◇この製品は性能向上・品質向上のために予告なく仕様変更する場合があります。予めご了承ください。

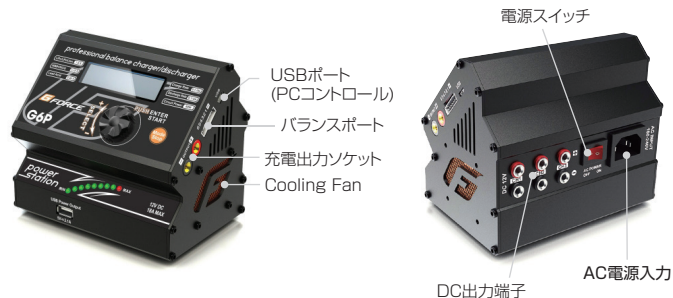
イントロダクション

この度はG-FORCE G6P Charger & Power Supply をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。本製品はシンプルな操作性ながら、マイクロプロセッサを搭載し多彩な機能を持った高性能充放電器です。さらに安定化電源の機能も搭載し、充電・放電をしながら、安定化電源としても使用可能となっています。またカタカナによる日本語表示機能を採用し、どなたでも手軽に使えるよう設計されています。ご使用頂く前に必ず、当説明書をよくお読み頂き、正しく理解してからご使用ください。

各部名称



(※1) ローターダイヤルでは以下の操作を行いません
 ・メニューのスクロール
 ・設定値の変更
 ・メニュー、設定値の決定



製品特徴

- ・ AC/DC両対応。屋外使用も、もちろん可能
- ・ 最大18A DC出力ポート搭載
- ・ LCD画面はカタカナ表示。操作に迷うことはありません
- ・ 使用電流を表示するLEDインジケーター装備
- ・ USB電源ポート(5V / 2.1A) スマートフォン、iPadやタブレットの充電に
- ・ オーバーヒートプロテクト機能、過電流保護機能搭載
- ・ 高級感溢れるブラックアルミニウムフェイスを採用
- ・ ローターダイヤルを採用し、シンプルな操作を実現

製品仕様

入力電圧:	AC100-240V / DC11-18V
操作部:	ロータリーダイヤル、モードスイッチ
ディスプレイ:	63.4×14.5(mm) / ブルーバックライト
PC接続:	マイクロUSBポート
ケース素材:	ブラック アルミニウム
クーリングシステム:	50×50(mm)内蔵Cooling Fan
ケースサイズ:	141.2×123.2×101.5(mm)
重量:	1023g
デルタピーク設定幅:	NiCd&NiMH 3-15mV/Cell
トリクル電流:	50-300mA
カット温度設定範囲:	20-80℃
バランス調整電流:	200mA/Cell

対応バッテリー:	NiCd/NiMH 1-15Cells LiPo/LiFe/LiIon 1-6S PB 2-20V
充電電流:	0.1-10.0A(最大80W)
セーフティタイマー:	1-720分
放電電流:	0.1-5.0A(最大8W)
放電カット電圧:	NiCd/NiMH 0.1-1.0V/Cell LiPo 3.0-3.3V/Cell LiFe 2.6-2.9V/Cell LiIon 2.9-3.2V/Cell Pb 1.8V
メモリー機能:	メモリー機能: 最大10メモリー

安定化電源部仕様

本製品はDC12V出力ポートを装備し、安定化電源としてもお使い頂けます。最大出力は18Aとなりますが、この安定化電源出力は充電器部分と共用です。充電器部分の使用状況により、DC電源として使える値が変化します。また、AC入力でのみ機能します。DC入力時は使用出来ません。

例: 充電器部分で12V/3Aの電力を使用している場合
 →12V/15Aを安定化電源として使用可能



DC出力端子(3ポート)

同梱品一覧



1. G-Force G6P Charger 本体
2. バランスボード(JST-XH)
3. 2ピンコネクタケーブル (チェーンスタイフ)
4. タミヤタイプコネクタケーブル
5. タミヤLiFe変換コネクタ
6. DC入カケーブル
7. AC入カケーブル

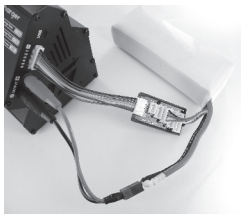
LiPo/LiFe/バッテリー充電方法

AC接続の場合は家庭用コンセントにACケーブルを差し込みます。
DC接続の場合はDCケーブルを使用し、極性に注意し親電源に接続します。親電源には安定化電源、もしくは自動車用シールドバッテリーをお使いください。



■ バランス端子の接続

下の写真を参考に、セル数を間違えないようバランス端子を接続してください。



■ バッテリーの接続

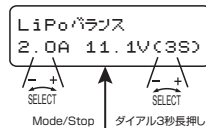
適合するコネクタケーブルを選択し、バッテリーを充電器本体のソケットに接続します。リチウム系バッテリーを充電する場合は、バランスコネクタ必ず接続してください。(バランス充電をしない場合もセル電圧のモニタリングのため接続が必須です。リチウム系以外のバッテリーではバランス端子を使用しません)

本製品のバランスポートはJST-XHタイプです。それ以外の形状のバランスポートを採用したバッテリーを充電するには別売のマルチバランスボードをお買求め頂く必要があります。

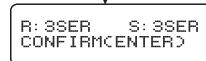
※ バッテリーコネクタ、バランスコネクタの形状や規格については、バッテリーに付属する説明書でよくご確認ください。バッテリーメーカーにより仕様がありますので、ご自身で判断がつかない場合はバッテリーの製造/販売元にご確認ください。

バランス充電

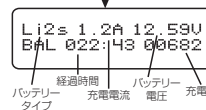
複数セルのバッテリーで、セル間での電圧差が出ないようにバランスを取りながら充電するモードです。特別な理由がない限り、リチウム系の電池は必ずバランス充電を行なうようにしてください。



操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。LiFeの場合はリフェと表示されます。左図の画面で【ロータリーダイヤル】を押下すると電流値が点滅し、充電電流の設定が行えるようになります。充電電流の設定値はバッテリー説明書でご確認ください。



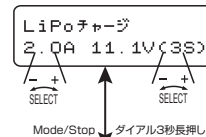
この画面ではセル数を表示します。「R」はバランスコネクタから判別した実際のセル数を表示しています。「S」はご自身で設定したセル数を表示しています。「R」「S」とも同じセル数で表示されていることを確認してください。表示された内容に間違いがなければ【ロータリーダイヤル】を押し、充電を開始します。



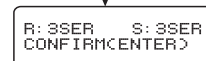
充電中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

LiPo充電 (バランスなし)

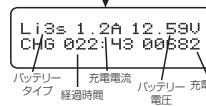
電圧監視のためバランスコネクタは接続しますが、バランス取りをせずに充電するモードです。このモードで充電を繰り返すと次第にセルバランスが崩れてきます。電圧バランスには十分ご注意ください。定期的にバランス充電を行なうようにしてください。



操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。LiFeの場合はリフェと表示されます。左図の画面で【ロータリーダイヤル】を押すと電流値が点滅し、充電電流の設定が行えるようになります。充電電流の設定値はバッテリーの説明書でご確認ください。



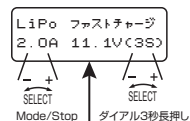
この画面ではセル数を表示します。「R」はバランスコネクタから判別した実際のセル数を表示しています。「S」はご自身で設定したセル数を表示しています。「R」「S」とも同じセル数で表示されていることを確認してください。表示された内容に間違いがなければ【ロータリーダイヤル】を押し、充電を開始します。



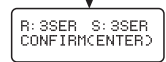
充電中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

LiPoファスト充電

バランスを取らず、実用可能な電圧までの充電を行なうモードです。バッテリーに対してダメージを与えることはありませんが、バランス取りを行わず、満充電にもならないモードです。セルの電圧には十分ご注意の上、定期的にバランス充電を行なってください。



操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。LiFeの場合はリフェと表示されます。左図の画面で【ロータリーダイヤル】を押下すると電流値が点滅し、充電電流の設定が行えるようになります。充電電流の設定値はバッテリー説明書でご確認下さい。



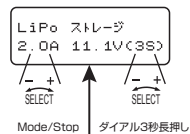
この画面ではセル数を表示します。「R」はバランスコネクタから判別した実際のセル数を表示しています。「S」はご自身で設定したセル数を表示しています。「R」「S」も同じセル数で表示されていることを確認してください。表示された内容に間違いがなければ【ロータリーダイヤル】を押し、充電を開始します。



充電中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

ストレージモード(保管モード)

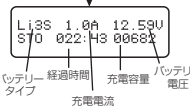
数か月以上の長期間使用しない場合に、バッテリーを保管適切な電圧(リポ:3.85V、リフェ:3.3V)に整えます。この保管電圧は変更できません。



操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。LiFeの場合はリフェと表示されます。左図の画面で【ロータリーダイヤル】を押すと電流値が点滅し、充電電流の設定が行えるようになります。充電電流の設定値はバッテリー説明書でご確認下さい。

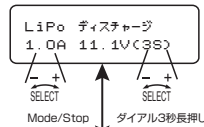


この画面ではセル数を表示します。「R」はバランスコネクタから判別した実際のセル数を表示しています。「S」はご自身で設定したセル数を表示しています。「R」「S」も同じセル数で表示されていることを確認してください。表示された内容に間違いがなければ【ロータリーダイヤル】を押し、充電を開始します。

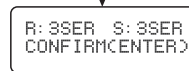


充電中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

ディスチャージ(放電)



操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。LiFeの場合はリフェと表示されます。左図の画面で【ロータリーダイヤル】を押下すると電流値が点滅し、充電電流の設定が行えるようになります。充電電流の設定値はバッテリー説明書でご確認下さい。

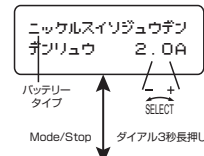


この画面ではセル数を表示します。「R」はバランスコネクタから判別した実際のセル数を表示しています。「S」はご自身で設定したセル数を表示しています。「R」「S」も同じセル数で表示されていることを確認してください。表示された内容に間違いがなければ【ロータリーダイヤル】を押し、充電を開始します。



充電中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

NiMH/NiCDバッテリー充電方法



操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。NiCDの場合はニッカドと表示されます。左図の画面で【ロータリーダイヤル】を押すと電流値が点滅し、電流の設定が行えるようになります。電流の設定値はバッテリー説明書でご確認下さい。



充電中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

※操作方法はNiMH/NiCDとも共通です。バッテリータイプの選択を間違えないようお願いを付けください。

NiMH/NiCDオートチャージ

このモードは、設定された電流値を上限として自動で充電電流を調節します。容量の小さなバッテリーなど、神経質なバッテリーを充電する際に重宝します。

ニッケルスイリオートチャージ
デジリユウ 2.0A

Mode/Stop ダイヤル3秒長押し

NiMH2.0A 9.52V
AUTO 00:13 0000

バッテリータイプ 経過時間 充電電流 電圧 充電容量

操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。NiCDの場合はニッカドと表示されます。左図の画面で【ロータリーダイヤル】を押下すると電流値が点滅し、電流の設定が行えるようになります。電流の設定値はバッテリーに付属説明書でご確認ください。

充電中は、充電電流や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

NiMH/NiCDリピーク充電(追充電)

リピーク充電(追充電)は、充電完了後に再度充電電流をかけることによって、充電後のセル単位の電圧を均一化します。

ニッケルスイリオートチャージ
1カイ

ダイヤルを押す

NiMH2.0A 9.59V
RPC 00:33 0017

バッテリータイプ 経過時間 充電電流 電圧 充電容量

操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。NiCDの場合はニッカドと表示されます。画面右下の数字は、リピークを行なう回数を示しています。リピークを行ないたい回数を設定してください。【ロータリーダイヤル】を押すと充電が始まります。

リピーク充電中は、充電電流や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

NiMH/NiCDサイクル充電

ニッケルスイリサイクル
ジユウヂン>ホウヂン 1カイ

Mode/Stop ダイヤル3秒長押し

NiMH1.0A 7.42V
D>D 22:45 0090

バッテリータイプ 経過時間 放電電流 電圧 充電容量

操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。【ロータリーダイヤル】を押すと【CHG>DCHG】が点滅し充電・放電のサイクルを指定できます。再度【ロータリーダイヤル】を押すとサイクル回数が点滅しますので、サイクルしたい回数を設定してください。

設定完了後、【ロータリーダイヤル】を長押しするとサイクル充電がスタートします。

充電中は、充電電流や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

Pbバッテリー充電操作方法

自動車や二輪車に使用される、シールドバッテリーの充放電モードです。不意のショートを防ぐため、必ず車体から外して充放電を行なってください。リチウム系、ニッケル系といったホビー用バッテリーとは特性が全く異なりますので、バッテリーの説明書をよく読み正しくお使いください。

Pbバッテリーを充電する

Pbチャージ
2.0A 2.0V<1P>

Mode/Stop ダイヤル3秒長押し

Pb-6 4.0A 12.59V
CHG 022:43 00682

バッテリータイプ 経過時間 充電電流 電圧 充電容量

操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。電流値、電圧の設定はバッテリーの説明書に基づいた数値で設定してください。設定完了後、【ロータリーダイヤル】を長押しすることで動作を開始します。

動作中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

Pbバッテリーを放電する

Pbディスチャージ
1.0A 12.0V<6P>

Mode/Stop ダイヤル3秒長押し

Pb-6 0.4A 12.59V
DC 022:43 00682

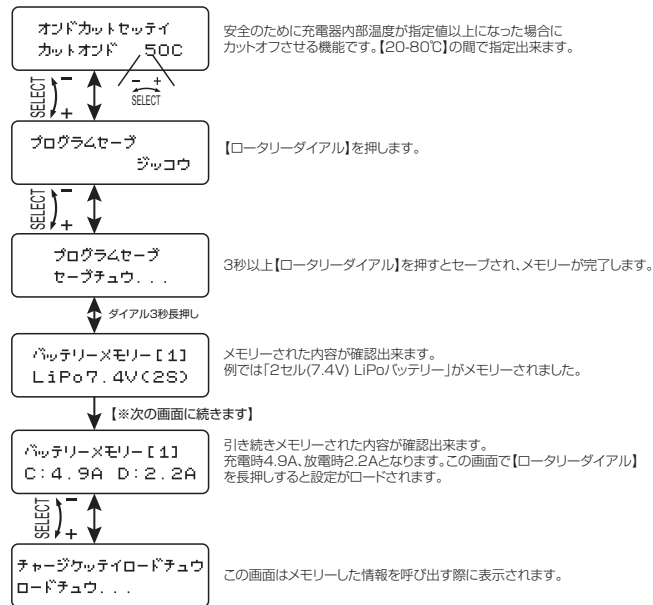
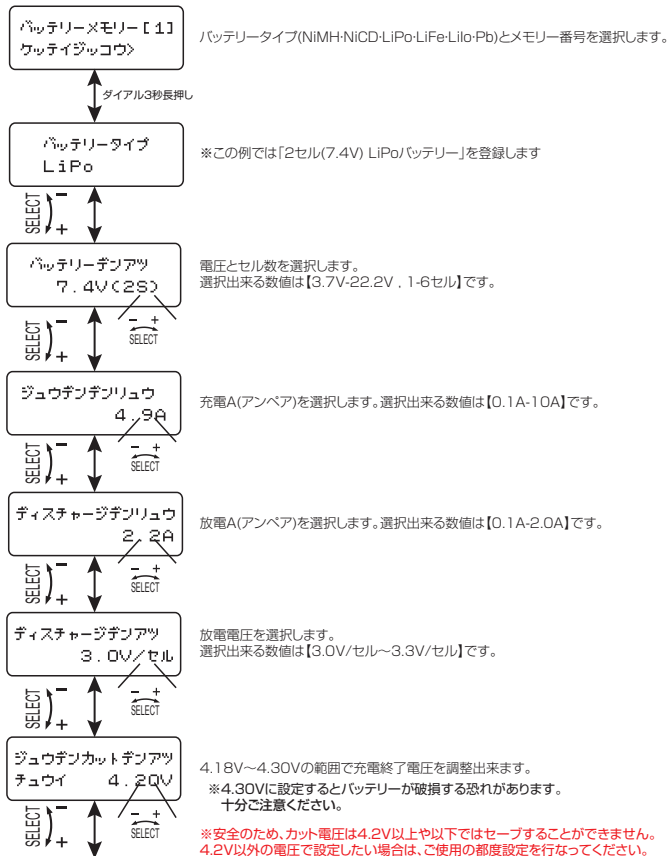
バッテリータイプ 経過時間 放電電流 電圧 充電容量

操作チャート図を参考に左図の画面を呼び出します。電流値、電圧の設定はバッテリーの説明書に基づいた数値で設定してください。設定完了後、【ロータリーダイヤル】を長押しすることで動作を開始します。

動作中は、セル数や電圧、経過時間などの情報が表示されます。充電完了後はブザーが鳴り、充電を終了します。

バッテリーメモリー機能

本製品は異なる充放電設定を10通り保存しておくことが可能です。保存した設定は必要に応じていつでも呼び出すことが可能です。



バッテリーメーター機能

本充電器ではバッテリーの合計電圧とセル単位電圧を測定することが出来ます。測定するときは、バッテリーコネクタ・バランスコネクタの両方を充電器に接続してください。

※接続図



プログラムセレクト
リチウムバッテリーメーター

「プログラムセレクト」画面を表示して【ロータリーダイヤル】を押します。
【リチウムバッテリーメーター】を表示させ、Enterを押します。

↑ ↓
ダイヤル3秒長押し

4.19 4.15 4.18V
0.00 0.00 0.00V

各セルの電圧が表示されます。

↑ ↓
SELECT
- +

メイン 12.52V
H4.190V L4.160V

合計電圧と【+最大電圧セル】【-最小電圧セル】が表示されます。

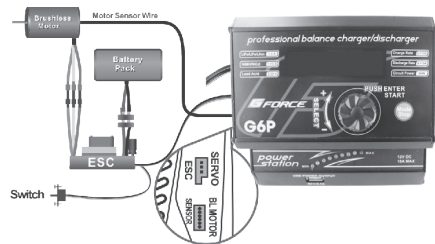
モーターテスター機能

本充電器ではセンサー付ブラシレスモーターの回転数(RPM)を計測することが出来ます。下図を参照し、各コネクターの極性や形状に注意して、モーター・ESC・バッテリーを接続してください。受信機コネクタはG6P充電器の「SERVO/ESC」差込口へ繋いでください。

センサーケーブルはESCへは接続せず、G6P充電器の「BL MOTOR/SENSOR」差込口へ接続してください。パルス幅は1500がニュートラル位置になります。

ダイヤルを回すと、操作量に比例してモーターの回転数が上がり、RPMの部分に回転数が表示されます。

※接続図



プログラムセレクト
モーターRPMテスター

「プログラムセレクト」画面を表示して【ロータリーダイヤル】を押します。
【モーターRPMテスター】が表示されます。

↑ ↓
ダイヤルを押す

パルス幅 900
RPM 00000

パルス幅が表示されます。このパルス幅を【1500】へ変更します。
【ロータリーダイヤル】を回し、1500となるようにします。

↑ ↓
SELECT
- +

パルス幅 1500
RPM 00000

サーボテスター

本充電器の「SERVO/ESC」差込口へサーボを接続します。
 ※デジタル/アナログ どちらでもお使いいただけます。



※接続するコネクターの差し込み箇所を正しくセットしてください

プログラムセレクト
サーボテスター

ダイヤルを押す

パルスピリオド
20ms

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

パルスステップ
4μs

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

パルス幅
1500μs

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

「プログラムセレクト」画面を表示して【ロータリーダイヤル】を押します。
 【サーボテスター】が表示されます。

パルスピリオドは初期値のまま20msでお使いください。

※パルスピリオドとは、制御信号を繰り返しサーボに送る間隔のことです。
 初期値の20msであれば、20マイクロ秒ごとに操作信号をサーボに送信していることを意味します。

パルスステップは、ダイヤル操作に対する数値の変更幅を設定する項目です。
 数値を小さくするほど細かな動作を行なうことが出来ます。

1500μs(※)がニュートラル位置になります。
 ダイヤルを操作することで、サーボの動作を確認できます。

※一部メーカーのサーボでは1520μsがニュートラル位置となっている場合があります。
 ニュートラル位置が不明な場合はサーボの製造元にご確認ください。

デジタルかアナログにより、対応できるパルスピリオドに幅があります。
 以下の数値を参考にお使いください。正確なパルスピリオドを確認したい場合は、サーボの製造元にご確認ください。

- ・車用送受信機のハイレスポンスモード(デジタルサーボ)..... 3~6mS
- ・車用送受信機のノーマルモード(アナログサーボ)..... 12~16mS
- ・飛行機用送受信機のハイレスポンスモード(デジタルサーボ)..... 8~12mS
- ・飛行機用送受信機のノーマルモード(アナログサーボ)..... 14~22mS

ご注意!

サーボの詳細が不明な場合は初期値の[20ms]でお使いください。
 数値を小さくしすぎるとアナログサーボは破壊の可能性があります。
 許容範囲については製造元にご確認ください。

プログラムセット

各項目を、任意の値にセットすることが可能です。ご使用のバッテリーの説明書をよく読み、安全が確保できる範囲内で設定してください。

プログラムセレクト
システムセット →

ダイヤルを押す

インターバルタイム
ジューデン 100フン

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

アンゼンタイマー
ON 120フン

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

ヨウリョウカットオフ
ON 5000mAh

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

キーサウンド
ブザー ON ON

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

ニュウリョクデンアツアールーム
カットオフデンアツ 11.0V

ダイヤルを押す

SELECTION
- +
SELECT

システムセット画面を表示します。

サイクル充電を行なう際の充電と放電のインターバルタイムを指定します。設定可能値は[1~60分]です。

強制的に充電を終了させる安全タイマーの時間をセットします。出荷状態では120分となっていますが、お手持ちのバッテリーに合わせたタイマーをセット出来ます。

設定例:

容量	Current	推奨設定値(安全値)
2000mAh	2.0A	(2000/2.0=1000)/11.9=84分
3300mAh	3.0A	(3300/3.0=1100)/11.9=92分
1000mAh	1.2A	(1000/1.2=833)/11.9=70分

充電を終了させる容量をセットします。ここで設定した容量を充電すると強制的に充電を終了します。お手持ちのバッテリーに合わせて数値を設定してください。

キー操作音と、各種動作時のブザー音のON/OFFを設定出来ます。

充電器に接続された安定化電源などの電圧を監視して、指定された電圧以下まで電圧が下がると自動的にカットする機能です。

バッテリーオンド OC
ホントイオンド 37C



ジョキセツイ
ジッコウ



ソフトウエアVer
1.00

バッテリー温度と充電器内部温度を表示します。

この充電器の設定を初期状態に戻す機能です。それまで設定した項目が初期状態に戻りますので、安易に使用しないでください。

【Start/Enterダイヤル】を3秒以上長押しすると初期化されます。

この充電器のソフトウェアVersionが表示されます。

各種情報を表示・設定する

充電器液晶画面で各種情報の表示・設定が可能です。この充電器にはバッテリーチェッカー機能も装備されていますので、充電中の各セル電圧を確認することが出来ます。【Statusキー】の+/-を押すことで下記の情報を表示出来ます。

End Voltage
12.6VC3S

充電が完了すると最終電圧が表示されます。

IN Power Voltage
12.56V

充電器に入力されている親電源電圧が表示されます。
11-18Vの範囲にあることを確認します。

Ext. Temp OC
Int. Temp 26C

充電器内部温度(Int.Temp)と外部温度(Ext. Temp)が確認出来ます。

Safety Time
ON 200min

セーフティータイマー機能です。設定した時間を超えると、強制的に充電を終了します。

Capacity Cut-Off
ON 5000mAh

ここで設定した容量で充電を完了するカット・オフ機能です。
例では5000mAhまで充電すると充電完了となります。

4.19 4.15 4.18V
0.00 0.00 0.00V

バッテリーチェッカー機能です。各セルの電圧が確認出来ます。

エラーメッセージ集

液晶画面上にエラーメッセージが表示されることがあります。正しくお使い頂くには、エラー表示の原因を速やかに把握して、取り除くようにしてください。

REVERSE POLARITY

バッテリー接続が異なっています。+/-を確認してください。

CONNECTION BREAK

バッテリー接続が確認出来ません。正しく接続されているか確認してください。

CONNECT ERROR
CHECK MAIN PORT

バッテリー接続に問題があります。メインポートを確認してください。

BALANCE CONNECT
ERROR

バランス接続に問題があります。バランス端子接続を確認してください。

DC IN TOO LOW

DCの入力電圧が適正電圧(11-18V)より低くなっています。
入力電圧を確認してください。

DC IN TOO HIGH

DCの入力電圧が適正電圧(18V)より高くなっています。入力電圧を確認してください。

CELL ERROR
LOW VOLTAGE

バッテリーのセル電圧が低すぎます。各セルの電圧を確認してください。

CELL ERROR
HIGH VOLTAGE

バッテリーのセル電圧が高すぎます。各セルの電圧を確認してください。

CELL ERROR
VOLTAGE-INVALID

バッテリーのセル電圧に異常が発生しています。

CELL NUMBER
INCORRECT

コネクタの接続に誤りがあることを検出しました。コネクタとケーブルを確認してください。

INT. TEMP. TOO HI

充電器の内部温度が高くなっています。十分な冷却が必要です。

EXT. TEMP. TOO HI

充電器の外部温度(室温)が高くなっています。

OVER CHARGE
CAPACITY LIMIT

設定した値が最大充電容量を超えています。

OVER TIME LIMIT

最大充電設定時間を超えています。

BATTERY WAS FULL

バランスモードで充電しているとき、バッテリーの電圧が設定された電圧より高い数値になっています。

